

夏のプログラミング・シンポジウム 2013 報告

2013年の夏のプログラミング・シンポジウムは、「ビューティフルデータ」と題して、2013年8月25日の日曜日に、東京都目黒区下目黒のアルコタワー 17階、株式会社ドリコムのパレシオ・ホールで開催された。夏のプログラミング・シンポジウムは「東京で日帰り開催」という前回からの方針を踏襲し、また、前回と同じく参加費は無料（懇親会は有料）とした。

今回のテーマは、泥臭くなりがちなビッグデータの収集、蓄積、加工、分析、可視化などを、エレガントに行うための知恵を持ち寄り、様々な立場、様々な観点から吟味し、議論しようという趣旨であった。また、話題の提供には招待講演、30分の通常発表、5分のライトニングトークを用意し、研究ベースの話から実践現場での話題まで、幅広く集めることを目指した。

その結果、2件の招待講演、6件の通常発表、2件のライトニングトークでプログラムを組むことができ、引続き、7月12日から参加者の募集を始めた。参加申込みはインターネット上で簡単に行えるようにしたため、数日間はアナウンスを過去のプログラミング・シンポジウム参加者にのみ限定し、その後、一般の参加者募集を始めた。

参加募集のページでは、今までの申込み人数が判るようにしてフィードバックをかける一方、徐々に参加定員枠を増やすなど、姑息な？手法を駆使して参加人数の増加に努めた。その結果、120名近くの参加希望者が集まったのだが...

夏のプログラミング・シンポジウム開催当日は朝からあいにくの雨だった。それが原因かは定かでないが、最終的な参加者はスタッフも含めて95名程度に留まった。次回からは、a) 参加希望者がWebからキャンセルの意図を明確にできる、b) 募集ページでキャンセル待ちができる、といった工夫が望まれる。

シンポジウムは、9:30に受付を開始し、10:00からオープニング、10:10から1人目の招待講演と、予定通りに進行した。当日のプログラム、並びに、各講演の内容に関しては、報告集に掲載の資料を参照して欲しい。

夕方19:00からの懇親会には、講演者やプログラミング・シンポジウム常連メンバーを中心に40名程度が参加した。「東京で日帰り開催」の趣旨からは、60名ぐらいの参加者を期待していたのだが、ちょっと残念だった。しかし、参加者が少ない分、濃密な議論を始めるコロニーがあちこちに発生し、それはそれで有意義だったと思う。

最後に、講演者・参加者各位、並びに、開催にあたって御尽力くださった方々に感謝の意を表させていただきます。

2013年 夏のプログラミング・シンポジウム幹事団
中山 心太 (ドリコム)
竹迫 良範 (サイボウズ・ラボ)
比戸 将平 (Preferred Infrastructure)
多田 好克 (電気通信大学)